

新人のプロフィール

茨城県の昭和60年度定期人事異動により、4月1日付で新たに統計課勤務となられた方々に、自己紹介を兼ねてご執筆いただきましたのでご紹介いたします。



雑感

統計指導担当課長補佐
清水良一

3月27日、県職員の人事異動発表予定日だ。会議を終え部屋に戻ると、ソファのテーブルを囲み大勢が息を殺している。発表があったなど、私も衝動にかられ近寄ると、統計課だと誰かに言われた瞬間、30年前20歳台に統計課で過した思い出の数々が、廻り燈籠の絵のように頭の中を駆けめぐった。4年間に課の名称が4回変わったこと、本庁舎隣りにあった木造の庁舎にいたとき、冬になると若いもんが輪番で早朝出勤し、石炭ストーブを焚き付けたこと、集計作業に追われソロバンハジキをミッチリやらされたこと等々が。

着任後感じたこと、その当時は統計を基に推計したり、分析したりし、諸施策の方向づけの担い手として、今日ほど利用されていなかったような気がします。ただ調査環境は良かったように思われます。昨今はプライバシー意識の高まり、核家族化、共働き世帯の増加等に伴う昼間不在者の増加、或いは、住宅環境の多様化に伴う近隣協力関係の希薄化等に基因し、悪化の傾向にあると聞かされますと、世相の移り変わりを考えさせられます。

思いつくまま書き述べましたが、最後に茨城県民手帳のことですが、統計課を去ってからでもなぜかしら手帳は毎年購入していました。これさえあれば出張先等で質問などされても対応できるデータがこの手帳にあるんだなどの安心感からかも知れませんが、近年手帳の利用者が伸びないと聞き、どうしてかな、と謎解きに明け暮れる今日この頃です。



石楠花の開花に寄せて

統計指導担当主査
鈴木宗男

今年は気象条件に恵まれたせいか、庭先の石楠花の蕾が例年になく多く見られ見事な開花を待ち望んでいました。そして、この時期に統計課に異動しお世話になることになりました。この石楠花は私に過去を生かすすべを語るの

す。昭和53年5月末まで統計課に勤務していましたが、国勢調査地方説明会が45年群馬県赤城山麓で開催された折、当県の職員の方に数多い鉢植の中から苦勞して咲き分ける鉢を見定めていただき、その時、人との出会いがかもし出す心のきずなをかみしめながら手にしたものです。以来十数年、廻り来る季節毎、庭先で清楚な花を咲き続けてくれています。今年は、丁度国勢調査の年に当たり同じような時期に異動でき、石楠花への想いを一層秘めながら統計指導グループに属した私は、行政資料室に籍を置くことになりました。

当資料室は、昭和42年に開設、初代室長横田氏が精力的に取り組んだ事業であり、ここに配架、保管されている基礎資料は三万一千余冊に及んでいます。私も諸先輩の業績に恥じないよう統計課の窓口の一つとして皆様が無難に御利用いただけますよう努力します。よろしくお願いいたします。



過去を振り返って

統計指導担当係長
佐川忠志

この度の人事異動で統計課に配属され既に数週間を経過しましたが、その間に感じたことを述べ、皆様方へのご挨拶と致します。

私が当課と係わりを持ったのは、昭和42年9月から約1年間労働統計係に席を置いて以来のことである。

当時の私の職務分担は、毎月労働統計とか小規模事業所の統計が主な業務であった。

調査票の集計、平均値の算出には電動計算機(モンローとかいう米国製の機種)を使用し、月報は集計値を基に対前月、対前年同月比及び景気の動向等をB4版の原稿用紙に記載した簡単なものであった。

この報告書に決裁を受ける際「統計とは書類の表面を見るだけでは駄目で、裏面まで目を通す必要がある。」と課長補佐がいわれたことがあったが、未だもって「眼光紙背に徹す」までの力が備わるには程遠い非力さを後悔することである。

その後ほぼ20年が経過し、統計事務は非常に進歩し変化

〈喫煙室〉

している様子であり、時間の隔たりを感じている。

私は現在を考えると、ある面で非常に多様化した価値観、混迷化した社会情勢に対応するには、客観的で合理的な資料を必要としていると思われる。この様なときに計数を身近には握し、今後の進路を見極める資料として耐え得る統計を専門的に作成する当課に戻ったことは大変有難いことと感じている。

過去を振り返り、新たな気持ちで精一杯業務を遂行する所存ですので宜しくお願い致します。



統計課に赴任して

企画分析担当課長補佐
柴田 敬三

2年10ヵ月ぶりで再び県庁勤務となった。前任地では財団法人国際科学技術博覧会協会に勤務し、いま賑わっている筑波科学万博の会場づくりに参画し、去る3月16日に無事開会式を迎えることができたときはほっとし、仕事をふり返って感無量の思いであった。本県で開催される最大の、そして我が国の今世紀最後のイベントといわれる“科学万博”を皆さんで盛りあげ成功に導いてほしいと願っている。

今度の異動で統計の仕事にとり組むことになったが、業務の内容を知るに及んで非常に地味な仕事であり、重要な仕事であることを感じさせられている。

本県では、先進県の仲間入りをめざして従来から大型プロジェクトを核に各施策を積極的に進めているが、一方でその結果を統計が計数的に把握し示してくれる。これを現状分析し、フィードバックした行政施策に反映させる。この一連のプロセスにおいて統計のはたす役割は大きい。

また、行政以外の分野での統計データの需要も増加している。こうした情勢に応えるため、さらに良質の統計素材の収集、統計データの整理分析と積極的かつ、正しい活用の促進などを心がけなければならないと考えている。



私にとってのスポーツ

企画分析担当主事
中根 幸一

今回の人事異動により統計課勤務となり、早1ヶ月が過ぎました。前課(商工指導課)では許認可事務を担当し、県内全域を駆け回っていたので、当課のように一日中机の前に座ってする仕事には、当初大変苦痛を感じていた訳です

が、最近やっと慣れてきたような気がします。しかしながら統計に関する知識のない私にとって、これから先勉強することばかりですが精一杯頑張りたいと思いますので、御指導の程よろしくお願いいたします。

さて、私であるが、典型的な肥満型である。因にサイズであるが、身長164cm、体重80kg、B100cm、W88cm、H105cmである。誰が見ても私がスポーツが好きであるとは考えられないのではないかと思う。しかしである、何と私はスポーツが大好きなのである。登山(ハイキング程度。冬山はやらない。)、スキー、野球、テニス、柔道、ボーリング、ビリヤード(スポーツか?)等々他人から誘われれば何にでも参加するのである。但し、実力とは言えば、持って生まれた才能の為、何をやっても半人前、或いはそれ以下ではあるが。

私にとって、スポーツをする理由としては①肥満対策、②アフタースポーツ(酒飲み)が上げられるが、主に後者が目的である。3,000mの山頂で飲むビール、下山した後温泉で飲む酒、スキー場で飲むビール、等どれ一つをとってみても最高の味である。

何かと多忙な昨今、なかなかスポーツを楽しむ機会もない訳ですが、出来るだけ時間を作り、スポーツを楽しみ、良い汗を掻き、旨い酒を飲みたいものである。



タバコの効果

企画分析担当主事
内野 茂美

私が赴任して来て最初に気になった事は、統計課、特に企画分析担当グループにおいて何人喫煙者がいるのかということでした。幸い私以外にも煙草愛好者がいるとのこと……。元来煙草好きの私、日常生活においても、衣食住より煙草の方が優先権を持っています。歌の文句ではないのですが、「朝起きてイップク、メシ食ってイップク……。」といった具合に、私にとっては必要不可欠な煙りなのです。

何故、私がここまで煙草に執着するのかと申しますと、皆さんが日頃蓄積されたストレスをスポーツや酒で解消するのと同様に煙草を吸うことが、私のストレス解消法になっているからなのです。煙草の煙りが自然に消えていく様に、ストレスもまた煙りと共に消滅していくのです。ですから私にとって煙草とは、嗜好品であり、また一種の精神安定剤でもあるのです。

昨今、嫌煙権などというものが大手を振って私達煙草愛

好者を苦しめています。これも世の流れと諦めてはいるものの、今後益々喫煙者が減る中で、いかにして喫煙権を行使して、ストレス解消法を保持していくか思案中のこの頃です。皆さんのご協力を切にお願いします。

最後に、統計業務については、無知同然の私ですが、先輩諸兄(姉)のご指導を仰ぎながら、精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



雑 感

人口労働担当主事
柏 村 昌 子

季節が移り変わり、穏やかな光と共に草木は芽吹き、色とりどりの花を咲かせます。

4月はまた入学式、入社式、人事異動等の時季でもあり、桜の花はこれらの門出を祝うにふさわしい花と言えるでしょう。今年は桜の開花が少し遅れた上に、気温の低い日が続いたこともあって、例年になく長い間、桜の花を楽しむことが出来ました。

私は今迄、桜の花びらは5枚であるとばかり思っていたのですが、一輪で340~350枚もの花びらを持つ桜が金沢の兼六園にあるそうです。また現在、広範囲に咲いているソメイヨシノは、山桜と江戸彼岸のかけ合わせにより生まれた新種で、この桜は、今では東京の駒込となっている当時の染井村という所で江戸時代の植木職人によって育てられ、「ソメイヨシノ」という名もその地名からきたということです。これから咲き始める八重桜は、花びらの色も様々で日の光を透かして見るとそれは素敵です。

科学博が私達の郷土で開かれています。最近の生活環境も、著しい進歩、発展をし高度な社会を形成し、多くの分野でのコンピュータ化、工業界のロボット化が社会的な問題を提起していますが、どんなに科学が発達し進歩しても人の「心」をコンピュータ化、ロボット化することはまず不可能でありましょう。それらの中で人間の「心」をもって接し、生きることが大切であると思います。

皆様の御指導をよろしくお願い致します。



「健康」になって

人口労働担当主事
赤 尾 杉 友 一

「磯谷式健康法」と聞いても知らない人が多いと思います

が、しかし、私にとっては、人生を楽しく過ごすための健康法なのです。

今から3・4年前、十二指腸潰瘍と腰痛から不眠症と偏頭痛に悩まされ、種々の療法を試みましたが、治癒しませんでした。そういう暗い日々を送っていた時、偶然見た一冊の本が、私を健康へと導いてくれたのです。

約半年間の通院治療と自宅療法(薬も手術もせず毎日簡単な体操で、健康をとり戻した今は、健康であることのあるがたさをしみじみと実感しています。病気で悩んでいる人達に、この療法を教えてあげたいと思っています。

2度とない人生です。仕事も大事ですが、健康第一に頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



ひとつの感想

人口労働担当主事
広 瀬 勝 己

近頃、陶磁器類に関心を持っています。と言っても、自分で作陶するわけではなく、雑誌を見たりデパートや売店などで眺める程度です。それでも、時折買収求めた小品(ぐい呑みや湯呑み等)が数点ほど集まりました。

4~5年前に益子に立寄ったのがきっかけでした。以来何度も出かけるようになりました。それまで、益子や笠間焼などはもちろん、焼きものにはほとんど興味がなかったのが不思議なくらいです。きっかけは人生のいたるところにあって新しい世界と結びつれると思います。ただし、良い事ばかりとは限りません。

さて、我々が経験する異動も、ある意味ではこのきっかけと同じ役割を持っていると思います。新しい職場環境、人間関係、新しい経験がいままでにない自分を引き出してくれるような気がします。今のところ、ちょっぴり心細く仕事の出来ない後ろめたさもありますが、このような期待をもって統計課にまいりました。何卒よろしく御指導をお願いいたします。



この1ヵ月で感じたこと

商工担当課長補佐
坂 場 二 郎

統計課に着任して1ヵ月になりますが、新しい仕事にともどい、課の事務事業をひもとくことなく過ごしてしまいましたが、この間にあって感じたことを記してみます。

〈P39へつづく〉